

都市構造可視化の活用について

～今後の施策検討に向けて～

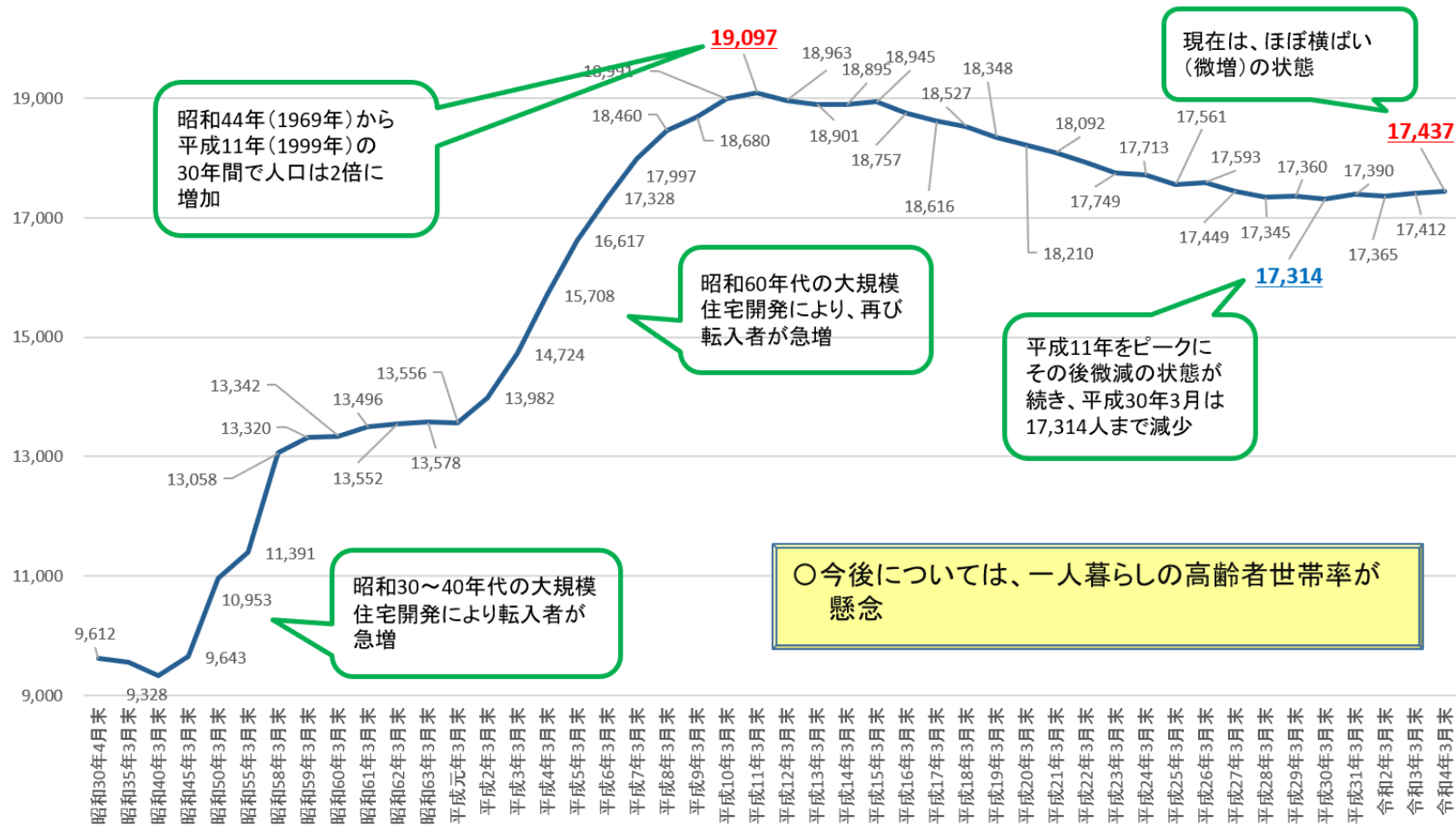


基山町役場 定住促進課

1.都市構造可視化の活用事例（人口推移）

基山町の人口分析

基山町の人口推移



出典：町資料

2.都市構造可視化の活用事例（人口推移）

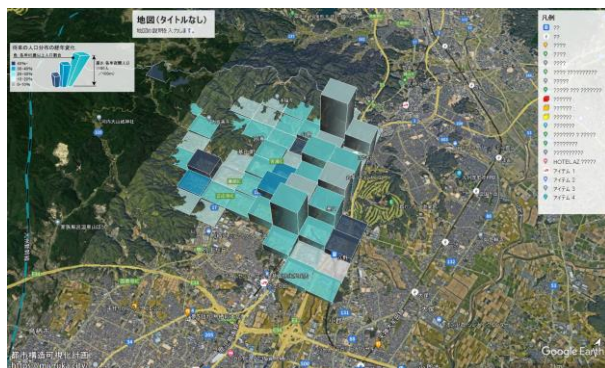
基山町の人口分析

- ・グラフとして表すと町全体の人口の伸びは分かりやすい。
- ・しかし、どの地域に人口が分布しているか分かりにくい・・・
- ・将来、どの地域がどれくらいの人口で推移していくのか、予想が立てづらい。



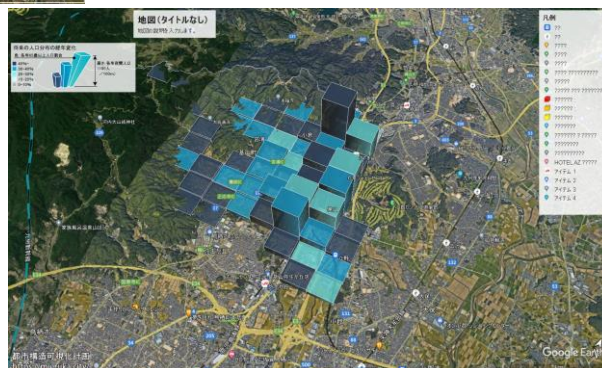
都市構造の可視化を行うと？

3.都市構造可視化の活用事例（人口推移）



← 2010年

2010年時点では
高齢化率が低い地域
があったが、段々と町全
体で高齢化率が高くな
り、2045年には
人口の分布も平らに
なってしまった。



← 2030年

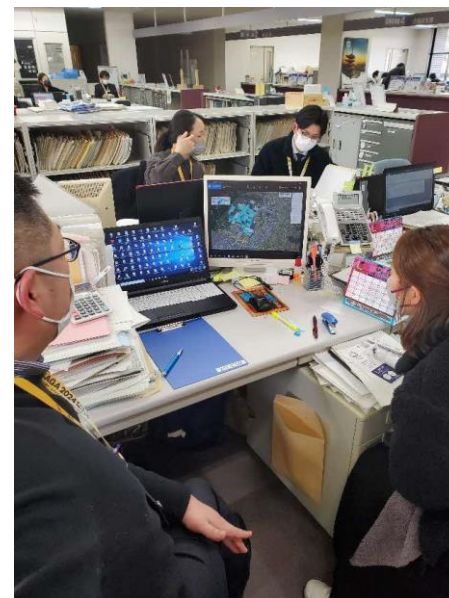
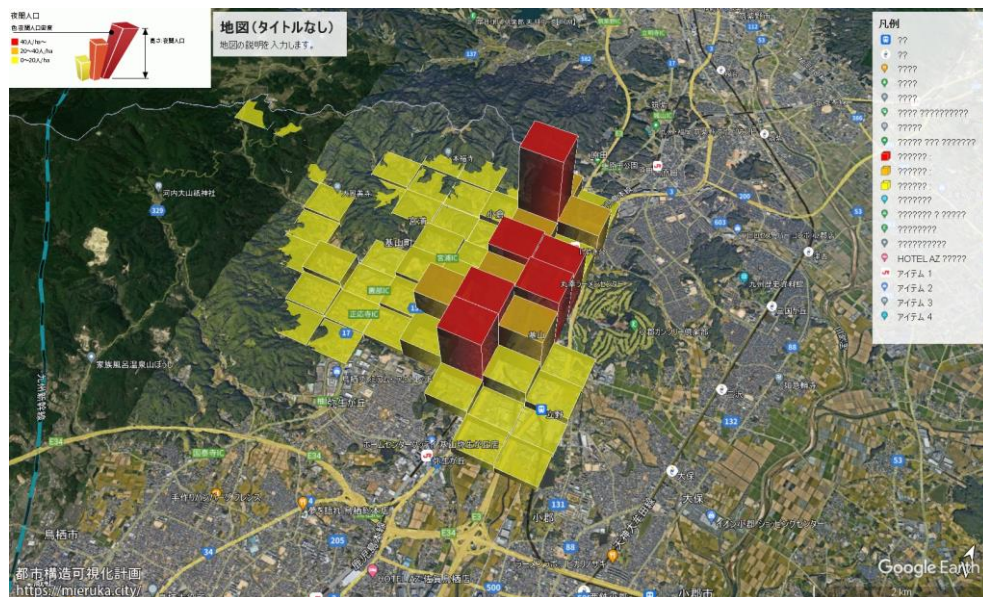
2045年→



補注：都市構造可視化計画、©2020 ZENRIN
Data SIO ,NOAA,U.S.Navy NGA,GEBCO Image
Landsat/Copernicus, GoogleEarthを使用

4.都市構造可視化の活用事例（人口推移）

現状から将来への推移について課内で議論



補注：都市構造可視化計画、©2020 ZENRIN

Data SIO ,NOAA,U.S.Navy NGA,GEBCO Image Landsat/Copernicus, GoogleEarthを使用

- ・現在、町内の中心として人口が集中しているJR鹿児島本線沿線も、時間の経過とともに人口が減少していくことが確認できた。
- ・町内でも人口が密集しているけやき台駅周辺は、開発当初（約35年前）に住み始めた住民がこれから一気に高齢化していくことが確認できた。

5.都市構造可視化の活用事例（人口推移）

人口推移から見た課題

- ・今後、高齢化社会となる中で、地域毎にその特性に合った交通施策の検討が必要。（コミュニティバスの路線変更やデマンドタクシーの導入等）
- ・2022年4月時点では町内の空き家の数は185件であったが、これから先もっと増えていくことが予想されるため、空き家の利活用についての取組が課題となる。
- ・宅地開発による転入者の確保、移住・定住者のための支援等を充実させ、町の魅力を積極的に発信することが重要。

etc… いろいろな意見を出し合うことができました。

6. 今後の課題

都市構造可視化を今後も活用していくために

- ・ 3Dマウスの使い方に慣れない（難しい）
- ・ 使いたいデータ、並べたいデータがあるのにその加工方法がわからない
- ・ KMLファイルの作成が非常に難しい



面積：22.15km²

人口：17,497人(令和4年6月末現在)

世帯数：7,298世帯

(うち、高齢者単身世帯 941世帯)

概要：佐賀県の東端に位置し、福岡市のベッドタウンとして発展。町内を国道3号、九州自動車道、県道17号、JR鹿児島本線が縦走し、交通の要衝地となっている。2019年1月に町制施行80周年を迎えた。

(出典：町資料、住民基本台帳)

観光

“つつじ寺”として有名な大興善寺。秋はもみじの紅葉につつまれます。



“基山(きざん)”には、国指定特別史跡の「基肄城(きいじょう)跡」があり、毎年『草守基肄(くさすきい)世界大会』も開催。

